

4月12日開催『新しい資本主義実現会議』提出資料

東京大学 柳川範之

なぜ、スタートアップか

日本経済全体のエコシステムを、世界の構造変化に合わせて大きく転換させる
スタートアップ育成・新しい企業支援も、そのコンテキストの中で捉えるべき

世界の構造変化

- ・社会的課題（環境問題、持続可能性、格差・貧困等）に大きな関心
- ・クラウド等の技術革新で、新しいアイデア実現のコストが大幅に低下

⇒

研究開発から産業化までの距離が短くなり

いままでにないアイデアの創出や多様な連携に大きな勝機が

解決が難しかった社会的課題も、収益化のチャンスに

目指すべき方向性

若者も含め新しいチエが積極的に実用化され、

社会的課題解決が成長にもつながっていく社会を目指す

そのためには

- ・大企業内の長期昇進プロセスを経た事業化だけではなく
スタートアップや新しい企業によるアイデアの実現
- ・長期的取引関係に基づく銀行融資だけでなく
ベンチャーキャピタルによる出資や新しい連携関係の構築
- ・長期固定的な雇用関係だけではなく
適材適所の変化に応じて、人が積極的に動ける社会
- ・積極的なチャレンジが多くできるよう
失敗の経験や軌道修正が可能なルールや制度の構築

を実現させる、エコシステムが必要である。

政策面でのポイント

- ・ 兼業・副業の拡大を含めた人材の流動化 動きたい人が動ける環境整備
- ・ 失敗を許容する、失敗を積極的に経験させる環境整備

- ・ 個人保証の問題は、政策として取り上げるべき重要ポイント
創業時の個人保証の見直し
融資担当者も「融資による失敗」が積極的に許容される社会に

- ・ 真の意味でのオープンイノベーションを
大企業によるスタートアップ囲い込みではない
大企業とスタートアップとの連携や取引の適正化
企業とフリーランスとの取引適正化

- ・ ベンチャーキャピタルの重要な点は資金提供だけではない
経営のノウハウの提供や人材・企業紹介等
新しいエコシステム構築においても重要な役割
それができる人材の積極的な誘致・育成も必要

- ・ 社会的起業家がより活動をしやすくする法人形態の検討は、
この分野に焦点をあてる意味でも重要な取り組み

- ・ 開示に関しては、一定のフォーマットや基準を示すことが、
民間の積極的な行動を促すうえで不可欠